

令和6年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目(国語)

准教授 宮田 航平

	取 組 状 況
教育	1. 小テストとスピーチ・口頭発表の実施 「国語Ⅰ」(第1学年)において、定期的に小テストを実施することで、第1学年の学生が物事を理解・表現するのに必要な語句の定着を図った。またスピーチや口頭発表の機会を定期的に設けることで、話し言葉の特徴や役割を実践的に理解し、従来の「国語」の授業で不足しがちであった「話すこと」にかかわる言語表現力を、実践的に養成した。 2. AL教材の開発と授業実践 「国語Ⅰ」(第1学年)、「日本語表現法Ⅰ」(第4学年)において、シラバスに記載した到達目標を達成するために、主体的・対話的で深い学びを促すためのワークシートを作成し、個人やペア、グループでの学習活動を軸に授業を構成した。また国語に苦手意識を持つ学生も段階的な理解が得られるよう、発問や助言にも工夫を凝らした。またワークシートで学習状況を把握し、学生の理解度を確認することで、適切な課題を設定した。
研究	1. 「「ひとしづく」は何を語るか—あまんきみこと「戦争」—」(公開学術フォーラム「文化権力という視座とその射程—東アジアと日本の文学・記憶・近代」立教大学日本学研究所・翰林大学校日本学研究所[韓国]、8月29日) 2. 「「児童文学研究」から考える——教育と研究のあいだで——」(2024年度第4回研究推進セミナー、12月20日) 3. 「なぜ「白いぼうし」は語り継がれるのか——小学校国語教科書というメディア」(あまんきみこ研究会第13回研究会、2月22日) 4. 日本学術振興会科学研究費助成事業「国語科教育における「近代童話／童謡」の再評価と新教材の発掘をめぐる調査研究」(基盤研究(C)、2022～2026年)研究分担者
社会貢献	1. OPC小中学生対象講座「中学生のための小論文講座」(企画・講師、全2回、2024年8月) 2. 日本児童文学学会(評議員) 3. あまんきみこ研究会(会務委員) 4. 国語教育史学会(運営委員) 5. 三省堂高等学校国語教科書編集委員会(編集委員) 6. 日本児童文学者協会(研究部員) 7. 大阪府立中央図書館国際児童文学館(特別研究者)